

# 地域とともにある「室積学園」をめざして ～「学校・地域連携カリキュラム」の活用・評価・改善サイクルの構築～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
光市立 室積小学校	室積学園学校運営協議会	地域学校協働活動推進員 1名 1名	室積まちぐるみ協議会 (地域協育ネット)
	平成26年4月 指定	地域コーディネーター 0名 0名	
光市立 室積中学校	室積学園学校運営協議会	地域学校協働活動推進員 1名 1名	室積まちぐるみ協議会 (地域協育ネット)
	平成25年4月 指定	地域コーディネーター 0名 0名	



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

室積小・中学校では、小・中合同の学校運営協議会を設立し、学校と地域による熟議を通して15歳の目指す姿や9年間の学校・地域連携カリキュラムを策定することで、CSと地域学校協働活動が一体的に推進できる仕組みをつくった。さらにこのカリキュラムを活用し、取組の評価や見直しを行い、地域連携・小中一貫教育の充実につなげている。また、熟議に児童・生徒が参加することによって、児童・生徒自身が室積を盛り上げていきたいという強い思いを抱き、室積繫(きずな)プロジェクトが誕生した。

### 目標や目指す姿(学校)

日本一学びが好きな「むろづみっ子」の育成 「自分を見つめ、夢をもち、人との関わりを大切にし、地域を愛する子ども」

### 目標や目指す姿(地域)

日本一学びが好きな「むろづみっ子」の育成 「自分を見つめ、夢をもち、人との関わりを大切にし、地域を愛する子ども」



## 特徴的な取組と成果・効果

### 取組

#### 学校運営協議会

- 熟議を活用した行事等の検討  
学校・地域連携カリキュラムを活用し、各活動のねらいやもち方について検討している。
- 児童生徒参加型熟議  
大人が子どもの思いを受け止めるとともに、子ども自身に室積への愛着が強まっている。
- 生徒総会の意見を提案  
生徒総会で出された意見を協議し、学校と地域の連携・協働につながった。



(上)学校・地域連携カリキュラムを活用した熟議、(下)生徒参加の熟議

#### 地域学校協働活動

- 『室積繫(きずな)プロジェクト』  
○プロジェクトの一つとして、地域と一緒に考えたキャラクターが完成。地域学校協働活動推進員を中心に、まちぐるみ協議会でも話し合い、地域のマスコットキャラクターに認定。  
○まちぐるみ協議会で振り返りを行う中で、さらに、地域と小中学生と一緒に防波堤にキャラクターを描く『みたらいいアートプロジェクト』に発展。



キャラクター投票

#### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

- 学校運営協議会委員に地域学校協働活動推進員が入り、CSと地域学校協働活動の円滑な繋がりを生み出している。
- 学校運営協議会がブレインとなり、協議した内容を、地域学校協働活動が実働するしくみが整備されている。
- 学校運営協議会で学校・地域連携カリキュラムを地域や子どもと一緒に作成、活用、評価、見直しをすることで、地域と一緒に活動するねらいを共通理解し、活動の充実につながっている。

### 成果・効果

- ◆【学校】小・中学生と一緒に活動する機会が増えたことによる、小学生の中学生に対する憧れや中学生の自覚の高まり
- ◆【学校】地域の方に直接、誉めていただいたり、感謝の言葉をいただいたりすることによる、自己肯定感の向上・郷土愛の醸成・地域の大人に対する信頼感の高揚
- ◆【学校】学校・地域連携カリキュラムを学校と保護者、地域で作成し、さらに、評価・改善の中に子ども声を生かしていることによる、より充実した一体的な活動へのつながり
- ◆【学校・家庭・地域】カリキュラムの見直しを一緒に行うことによる、目指す子ども像と身に付けたい力の意識の共有
- ◆【学校】児童生徒が学校運営協議会に参加し意見を述べることによる、児童生徒自身の参画意識と自己有用感の高まり
- ◆【地域】児童生徒と熟議をする機会の増加による、支援者意識から協働者意識への変化と質の高い教育活動への改善
- ◆【地域】取組をともしで行うことによる繋がりがづくり、温かい地域づくり
- ◆【地域・学校】学校評価項目の改善を学校と保護者、地域と一緒に進めたことによる、より確かな学校課題と成果の把握
- ◆【学校】教職員が地域貢献活動の際の新たな児童生徒の様子を知ることによる、多面的な児童生徒理解